



デンタル ニュース



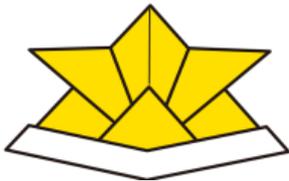
2015年
5月号



5月になりました。この季節の晴れた日は本当に気持ちが良いですね。さて、そんな5月の爽やかな晴れの日を「五月晴れ」（さつきばれ）といいますが、その元々の意味をご存知ですか？五月（皐月）とは旧暦で6月にあたります。6月といえばジメジメとした梅雨の季節ですね。そんな梅雨の合間に晴れた日の事を「五月晴れ」と呼んでいたそうです。現在では意味が変わり、気象庁でも「五月晴れ＝5月の晴天の意」となりました。また、「五月晴れ」の反対語で「五月雨」（さみだれ）という言葉があります。こちらは何故か意味が変わらず、6月の長雨・梅雨を指しています。面白いですね！

楽しい行楽シーズン、歯の調子が悪いと、楽しい気分も台なしです。お出かけの前にはぜひ定期検診を。また、5月の第2日曜（10日）は「母の日」です。家族のことを優先して、自分のことは後回しの多忙なお母さんへ、日頃の感謝の気持ちをこめて、定期歯科検診をすすめてみてはいかがでしょうか？

たんぽぽ歯科からお知らせ



歯科検診を受けよう！



[http:// www.tanpopo - dc.com/](http://www.tanpopo-dc.com/)

たんぽぽ歯科

住 所 海老名市河原口3-20-12 西山ビル

電 話 046-235-2233

診療科目 一般歯科、小児歯科、
歯列矯正、審美歯科、
インプラント、予防検診、
3Mix 法、フッ素塗布

モバイルサイト



携帯サイトは
こちらから



むし歯は感染する！

★虫歯菌感染の窓とは！？

生まれたばかりの赤ちゃんのお口の中には、むし歯菌がいません。むし歯菌は固い所にしか住めないで、歯のない赤ちゃんのお口には住めないのです。そんな赤ちゃんに、むし歯菌が感染し始めるのは、歯が生えてくる6ヶ月ころからといわれています。特に、生後19ヶ月（1歳7ヶ月）から31ヶ月（2歳7ヶ月）までの時期に最も感染し、定着します。この時期は「感染の窓」と呼ばれ、注意が必要とされています。



また、むし歯の体質はおおよそ2歳までに決まり、その後一生変わらないといわれています。むし歯菌の感染が早いほど、その後に虫歯ができやすい傾向があり、2歳以前に感染した子の方は、2歳以降に感染した子より虫歯が多い傾向があります。

感染の窓の時期に家庭や歯科医院でしっかり感染予防ができれば、その後は虫歯になりにくくなるのです。

★虫歯菌どうやって感染するの？

スキンシップによる感染

可愛らしいあかちゃんに思わずチューすると、むし歯菌が口から口へ感染してしまうことがあります。

食べ物の食べ移しから感染

熱い食べ物の温度を口で確かめたり、大きな食べ物を噛み砕いてからあげると、むし歯菌の感染の原因になります。

食器の共有から感染

大人が使ったスプーンやフォークで食べさせるときに、むし歯菌が移ってしまう可能性があります。



★感染させないための3つの工夫とは？

- 1) お母さんとお父さんだけでなく、同居する家族の方全員が、歯科医院でしっかりとクリーニングを受けお口の中の細菌を減らす。むし歯や歯周病を治療し口腔内を除菌しておく。
- 2) むし歯菌は、唾液を通して感染するので、食べ物を噛み砕いてあげたり、フーフーしたりしないように気を付ける、また大人と同じ食器やスプーンで食べ物を与えないようにする。
- 3) 歯科医院で定期的にクリーニングを受け、フッ素を塗布する。シーラントをしてもらい、むし歯になりやすい歯の裂溝を封鎖する。

あまり神経質になりすぎる必要はありませんが、赤ちゃんのお母さんだけでなく、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんなど、家族みんなで協力して虫歯予防ができるといいですね。



たんぽぽ歯科
TANPOPO DENTAL CLINIC

